

令和 3 年

第 7 回教育委員会会議録

(開会 令和 3 年 5 月 17 日)

(閉会 令和 3 年 5 月 17 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和3年5月17日午前9時00分開会

会場：市役所4階第3会議室

出席委員

堀部好彦君（教育長）

丹羽千明君（教育委員）

長井知子君（教育委員）

伊藤小百合君（教育委員）

小栗照代君（教育委員）

説明のために出席した者

渡辺勝彦君（事務局長）

今井竜生君（学校教育課長）

上北泰久君（学校教育課主任指導主事）

小川隆行君（学校教育課指導主事）

辻原詩織君（学校教育課学校支援係）

石原雅行君（教育総務課長）

佐藤一洋君（学校給食センター所長）

千葉智治君（教育研究所主任指導主事）

福田真弓君（学校教育課学校支援係長）

出席委員会事務局職員

木村彰伯君（教育総務課総務係長）

中水麻以君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 前々回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①議案第14号 教育に関する予算の意見について（令和3年度可児市一般会計補正
予算（第2号）） （原案承認）

②議案第15号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について （原案承認）

6 各課所管事項

7 委員からの提案協議事項

8 その他

9 閉 会

開会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） おはようございます。
第7回の教育委員会会議を開催させていただきます。
定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということによりまして、よろしくお願いいたします。

前々回会議録の承認

- 教育長（堀部好彦君） では、早速ですが、前々回会議録の承認について。
- 教育総務課長（石原雅行君） 変更はございません。以上です。
- 教育長（堀部好彦君） ありがとうございます。
変更はなしということによりまして、よろしくお願いをします。

教育長報告

- 教育長（堀部好彦君） では、続きまして教育長報告でございますが、主に3つお願いをします。

新聞等でも報道されております昨日のコロナの可児市の感染者が20名ということで、過去最高ですね。ということで、ちょっとコロナのことで情報をお伝えしたいと思いますが、スマイリングルームにつきまして、それから教育研究所計4名の感染ということで報道等が出されておりますが、4名とも元気に退院したということで、研究所の業務につきましては先週の段階で再開しております。スマイリングルームの業務につきましては、今後検討ということで、千葉主任指導主事や、室長を中心に協議をしていただいて、感染対策万全の上、再開の方向だとは思いますが、協議が進められますので御承知おきください。

それと、まん延防止等重点措置区域の指定ということで、先週知事と市長とのテレビ会議が行われまして、新たな規制等につきましても協議がされているわけですが、それに伴って、県教委からも学校教育に関する感染対策が新たに出ております。この辺りに関しては、また後で報告があると思うんですが、特に水際対策について、さらに踏み込んだ指示がなされております。本当に予断を許さないということなんですけれども、こういった国難の中で、学校がしぼんでしまっただけでは子供が本当にかわいそうなので、教育長としてどんなメッセージを伝えていくことが校長を奮い立たせ、学校を活性化させるのかということを考えているんですけど、状況は刻々と悪化しているので、次の校長会が一つの大きな、校長先生とともに学校やっばりもっと頑張っていこうよというメッセージをどう発信していくかという機会にしたいなと思っております。とにかく厳しい状況だということですね。

2つ目、成人式につきまして、これはもう御承知おきかと思いますが、5月5日に予定の成人式が中止ということになりまして、当日は撮影のブースがa1aに設置されたということ、それからユーチューブの生配信が行われたということを知っております。参加者につきましては、520人の新成人がa1aに集まったということを知っております。新成人の合計は1,200人ぐらいだったと記憶しているんですが、その半分程度の新

成人が集まってくれたということで、市長の話によると、密を心配したということで、どうしても久々に会った仲間、同級生が集うわけですので、いろんなところで密があって心配だということは言っておられました。町なかでも結構晴れ着の娘さんの姿を見たんですけども、よかった面もあるかなということは思っております。これが2つ目です。

最後に3つ目ですが、先週の5月12日ですが、市町村教育委員会連合会の総会がウェブで開催されました。毎年岐阜の教育研究所、芥見にあるところですが、そこで開催されると聞いておるんですが、今回はコロナ対策ということで、ウェブで、教育長室で丹羽委員さんと私でパソコンの画面で総会に参加をしたということです。今年度の計画やら、予算等についての承認が行われたわけですが、その後、研修で文部科学省大臣官房審議官の高口さんという方が講話をされました。「教育政策の動向と教育委員への期待」ということで、教育政策と申しますと、まずは今、新学習指導要領が小学校・中学校全面実施となっておりますので、その辺りについて、教育委員さんへ再度学習指導要領の内容について周知をされたということ、いろいろありましたが、教育委員さんへの期待ということで言っておられたことを簡単に申し上げます。中身の説明、聞きたくなると思うんですが、ちょっと時間の関係で割愛します。4点ございました。

1つ目は、これからの社会に求められる資質・能力を見据えた新しい教育施策の実施。新しい教育施策を打ち出してくださいということ。

それから2つ目は、各学校において校長がマネジメント力をフルに発揮できる教育環境の整備。

それから3つ目が、教師がきちんと子供たちと向かい合えるよう、思い切った教師の働き方改革の推進。

4つ目は、各学校が地域からの教育資源が得られるよう、学校と地域とのかけ橋となつてほしいということ。

4つとも、可児市においてはこの方向を大切にしながら、それぞれ今着々と進んでいるのではないかなあということをおもうんですけども、またそれぞれ課題があるかと思しますので、こういう場でも協議課題として出させていただく分には全く問題ないのではないかなあということも思いますので、よろしくお願いします。

以上3点、ありがとうございました。

教育委員報告

- 教育長（堀部好彦君） では、続いて教育委員報告に入りたいと思います。
- 教育委員（伊藤小百合君） おはようございます。よろしくお願ひいたします。

教育委員の仕事としては、保健理事会も、特に書面決議という形になっているので、行事に参加ということはありませんでした。

私ごとなんですけれども、ゴールデンウィークに a l a で高校に通う息子の吹奏楽の定期演奏会がありまして、参観することができました。今年も結構コロナがひどい方向に向かっているんで、多分難しいか、撮ったビデオとか、撮影したもので見せてもらえるのかなあと、ぎりぎりまでどうなのかなあという感じだったんですけど、当日見せていただくことができて、すごく本当に演奏できた子供たちも多分うれしかったと思いま

すし、保護者としても見る事ができたので、とてもうれしかったです。

顧問の先生が県の教育委員会とかに相談をしたりとか、実際 a 1 a で行われるということで、a 1 a の方たちとどういうふうにしたら実施できるかというのをすごく綿密にガイドラインとかもつくって行われたそうで、それを県教委に出したそうなんですけど、そうしたら、校長先生がお話ししてみえたんですが、そのガイドラインがすぐ県のほうに、学校のほうに通達が行ったみたいで、すごく先生は誇らしかったと言ってみえました。ほかの劇場とかでもそうだと思うんですけど、チケットに誰がどこの席に座っているか、住所とか電話番号とか全部分かるように記載した上で、距離も空けてやったんですけども、本当に先生とか、子供も一生懸命もちろん頑張ったと思うんですけども、やっぱり骨を折っていただいた顧問の先生にとっても感謝しましたので、ちょっとその話をしたいと思って話しました。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** 何人ぐらいの規模なんですか。ステージに上がった生徒は。
- **教育委員（伊藤小百合君）** 30人ぐらいです。そんなに大きくないんですけども。
- **教育長（堀部好彦君）** 大変だったでしょうね。
- **教育委員（伊藤小百合君）** そうですね。ちょっと見ているほうもどきどきしながら、本当に大丈夫なのかなあとか思いながら見ていたんですけど。
- **教育長（堀部好彦君）** 観客とステージの間って、ある程度、観客の方々の最前列の位置というのはかなり後ろとか、そういうことでは。
- **教育委員（伊藤小百合君）** いや、なかったです。一応一番前からで、交互に、同じ列ではもちろん一つずつ席を空けて、斜めとかも空くようにして、全部使ってやっていたんですけど、多分もっと規模が大きいところだと大変でできないのかなあというのがありますし。
- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **教育委員（丹羽千明君）** おはようございます。

私は、5月11日に土田小学校を訪問させていただきました。土田小学校は、新任の奥村校長先生でしたので、以前一度御挨拶だけだったので、学校の様子を伺ってまいりました。土田小学校は大変素直な子たちが多いということをおっしゃっておられました。

また、コロナ対策に関しまして、グループ学習とか、対面しての話合い、学び合いというのが今はできない状態です。プールは、今年は中止ということが市と県からも話をいただいたとおっしゃっておられました。会議室とか校長室にパーティションがあるといいなと思いましたので、また検討していただければと思います。

また5月12日、教育長がおっしゃっていた岐阜県市町村教育委員会連合会の定期総会、岐阜市の教育研究所で開催予定でしたけれども、教育長室でリモート開催になりました。リモートというのは話が一方的でしたけど、会議としても成り立つように練習するといかなあと思いました。以上でございます。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **教育委員（小栗照代君）** おはようございます。

4月21日なんですけど、可児市特別支援教育育成会の役員会と特別支援連携協議会が開催され、会場に参加してまいりました。可児市長さんと教育長さんのお話の後に、会長として承認をいただきまして、その後の会長挨拶ということをさせていただきました。

後半では講演がございまして、特別支援連携協議会の会議ということで、福祉サービスの仕組み・実態についてという講話が市役所の福祉支援課の係長様からございまして、こちらでは、放課後等デイサービスについてという講話が行われました。大変勉強になりました。

こういったことで、今後特別支援教育についてということではいろんな行事があるよというようなお話もあったんですけども、実際に先日コロナの関係で、例えば7月9日の中学校のチャレンジ研修の会場が使えないという御連絡をいただいております。そうしますと、どういったことで対応するかということで今御検討いただいているということなんですけれども、オンラインでやってもいいんじゃないかというようなお話もいただいて、そういったことも活用しながら、ぜひ子供たちが今までは違う形かもしれないですけども、コミュニケーションを取ったりとか、プラスになるようなことを考えていただけたらなというお話をさせていただきました。

今回のことだけではなくて、今後やはりこのコロナですと、皆様方おっしゃっていたように、行事もまた見直ししながら、校長先生をはじめ先生方もいろいろと御検討して大変だと思いますけれども、ぜひ私たちが協力して、子供たちのために何かいい方向に行けるようにしていけたらなあと考えております。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

特別支援学級の生徒、子供たちの活躍の場が削られるというのは本当に心が痛いんですけども、今度の夏休みのチャレンジ研修はリモートでという。

○ **教育委員（小栗照代君）** という案も出ているというところです。多分広い会場が借りられないということなので、何か代替の方法で考えてくださるということです。

○ **教育長（堀部好彦君）** 本当に生徒たちの表現の場であり、リーダー性を発揮する場であり、僕も中部中学校のときに感動しましたので、あのときには宿泊でやりましたけれど、ぜひ何らかの形で続けられるといいかなあとということを思っております。ありがとうございます。

○ **教育委員（長井知子君）** おはようございます。

私は、幼保小連携推進会議に出席させていただきました。その会議の内容は、困り感を持った子供たちを幼稚園や保育園の先生方が指導してきた内容などを、もちろん保護者の方との相談の上ですけども、小学校へ連携してお伝えしていきたい、これからそういうことをやっていきたいといった内容でした。

それがすごくいいなあと思ったのは、私、以前に岐阜県PTA連合会に所属していたときに、そこでいろんな研修を受けさせていただいて、そのうちの一つで、びわこ学院大学の先生が、困り感を持った子供たちについてお話しして下さった内容があります。先生が言われたのは、困り感を持った子供たちがそれに気づかずに大人になってしまうと何が起るかというと、働いたときに人とうまく接することができなくて、行く末行けなくなってしまったり、ひきこもりにつながってしまう。だから、小さいときに、その年齢に合った指導をしていくと、本当に子供はめきめきと変わっていくので、それがすごく大切なんだよということを言われていました。

なので、私も今ボーイスカウトの子供たちがいて、ボーイスカウトにも困り感を持った子がいるんですけど、そういった子供たちを私も小さい頃から見ていると、本当にち

よっとずつでもすごく成長していくので、本当に周りがどれだけ子供たちに対して、その年齢に合った適切な指導ができるかが大切だなあというのを思いました。なので、これからやっていきたいということでしたけれども、それがうまくいくといいなと思いました。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ぜひこれもやっていただけると大変ありがたいですよ、幼保小の連携。これは、小学校の先生方にとって、どんな子供さんが入学してくるのかなあということを理解する上で当然有効なんですけれども、私はそれに加えて、やっぱり保護者の方が自分の子供をより正しく、確かな理解を自分の子供さんに対しての理解を進めていくということだとか、それから自分の子供を幼稚園も小学校も大切にしてくださっているなあという気持ちを持っていただく上でも、物すごく大切な連携じゃないかなあということを思います。ありがとうございます。

以上で教育委員からの報告は終了です。ありがとうございました。今後の参考にしていただけるとありがたいです。

議事

- **教育長（堀部好彦君）** では、次に議事に入ります。
- **事務局長（渡辺勝彦君）** では、議案書を御覧ください。
表紙の裏ページの目次のとおり、本日の議案は2件になります。
議案第14号 教育に関する予算の意見について（令和3年度可児市一般会計補正予算（第2号））、それから議案第15号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、以上よろしくお願いいたします。
- **教育長（堀部好彦君）** 議案第14号 教育に関する予算の意見について（令和3年度可児市一般会計補正予算（第2号））、議案第15号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、その他の児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録については、意思決定に関わる案件や個人情報・プライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

ありがとうございました。

各課所管事項

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、先に各課所管事項に入りたいと思います。
- **事務局長（渡辺勝彦君）** それでは、先ほど教育長からもコロナの状況についてお話をいただきましたが、御存じのように、県のほうがまず県独自の非常事態宣言ということで、4月26日から5月11日まで非常事態に伴う措置というものを発表していました。そんな中で、さらに県がまん延防止等重点措置区域に指定されて、この5月31日までが追加のより強い対策が打ち出されたところです。また、県では、国に緊急事態地域への指定というような要望も動きがございます。そういった状況で、県では新規感染者数はずっと最高の人数を更新していますし、可児市でも昨日は20人ということで最高の人数となっております。

子供たちの状況も、今年度に入りましてから、児童で10人、それから中学校の生徒で5人ということで、昨日までに15人の陽性者が判明しております。それから、教育研究所でも4人の方が陽性になったと。そのほかにも、給食センターの関係で委託の方ですが1人ということで、合わせると20人ぐらいの方が既に陽性になっておりまして、昨年度と比べると、かなり陽性になる確率というか、よく言われる若年層への感染力が多分強いということが数字からも見てとれる状況です。

そういった状況を受けて、県からの5月31日までの取組の指示の中で、特に可児市、美濃加茂市あたりは非常に人数が多いということで、部活動などはさらに厳しくし、日頃の活動を中止するというようなことも打ち出しをしております。

そんな中で、市のほうでも、昨日人づくり課の職員が1名また陽性ということがございます。ますますコロナに対する感染の対応をしっかりしていかなきゃいけないという状況でございます。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **教育総務課長（石原雅行君）** 私から、兼山小学校の児童数の減少に伴う対応状況について説明させていただきます。

4月28日にアンケートを発送しました。現在の小学生の保護者や将来就学予定の保護者約60名に送っております。アンケートの実物ですが、机の上に置かせていただきました「今後の兼山小学校を考える」アンケートというものになります。

内容は、1番が「複式学級となっても兼山小学校で学ぶ（学校統合をしない）」、2つ目が「学校統合を検討する」という2択のシンプルなものとしました。以前お見せしましたアンケートは、小規模特認校も選択肢の一つに入れるというようなことになっておりましたが、検討を重ねた結果、小規模特認校は学校統合をしない場合に設ける制度であるということで、まずは2択とさせていただいております。このアンケートは5月20日、木曜日までにポストに投函してもらうようお願いしてあります。

最終集計がまとまりましたら、何らかの、また教育委員さんにお集まりいただくなり、相談をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校教育課長（今井竜生君）** 4月20日以降の学校に関わる動きをお伝えします。

先ほどからもお話がありましたが、連休の前、4月27日火曜日に「第4波」非常事態対策の実施期間ということで、学校の教育活動についてという依頼文書を出しております。4月26日から5月11日までの期間中に授業参観等が予定されておったところもあったんですけども、その中止をしました。それから、大型連休中の注意事項ということで、その期間中の家庭での動きについての注意事項を伝えました。

しかし、連休明けからも感染状況は厳しい状況であります。新たに県の対策本部会議、県教委の会議が行われ、先週ですが、13日木曜日の午後、市から学校宛てに文書を配付しました。これは、県のまん延防止等重点措置区域の指定を踏まえた学校についての通知を受けて作成したものです。

机上に学校宛ての資料、教学第252号というものをお配りしております。これが学校に対してお伝えした内容になっていきます。感染防止対策の一層の徹底、それから感染リスクの高い活動の回避、あと部活における対応等の内容です。特に可児市としては、先

ほどからもありましたが、水泳の授業を中止するということが、これは更衣室等での3密を避けることが難しい、マスクを外して活動することの心配があるということで、その理由から実施をしないということにしています。あと今後なんですけれども、宿泊を伴う学校行事についても、日程や内容の決定に時間をかけて慎重に判断するということが伝えてあります。それから、部活動についても原則中止として考えています。

それから、家庭への協力をお願いするということが、感染が疑われる場合は登校しないということを示しています。この背景には、4月からの可児市における感染症に係る報告が、今のところ130件近く報告されています。4月18日のときは38件とお伝えしておりましたので、1か月で100件近い情報が伝わってきていることとなります。

先ほどもお話がありましたが、教育研究所、スマイリングルームについては、主任指導主事から概要を説明します。お願いします。

- **教育研究所主任指導主事（千葉智治君）** このたびのスマイリングルーム、それから教育研究所でのコロナ陽性者のことについて、いろいろ御心配おかけしまして申し訳ありませんでした。

研究所は、4月28日水曜日に、通室している児童の家族の方が陽性になったという連絡を受けました。それで、その家族の方は研究所にお子さんの送り迎え等で来ていたり、それからスクールカウンセラーとカウンセリングをしたりしていたので、スマイリングルームの職員と接触しておりました。そのため、スマイリングルームの職員2名はちょっと職員室から分けたところで過ごしていただきながら、保健所とやり取りをしました。その結果、スマイリングルームの関係者、それから通室していた児童、それからスクールカウンセラー等、合計10名が5月1日にPCR検査を受検することが決まりました。

その日、1人は、前日の4月27日の夜に高熱が出たため、念のために28日は休むという連絡を受けておりました。4月29日になって、もう一人の方の体調が急変したため、5月1日を待たずに検査を受けて、その結果、一人は陽性と、もう一人は陰性でした。そういったことがあって、陽性者と4月27日に接触していた教育研究所の職員も同じく5月1日に検査を受けるということになりました。検査の結果、スマイリングルームの職員で1名、それから教育研究所の職員で1名が陽性ということになりました。その後、一旦陰性と結果が出た方も体調が優れないままだったので、再度検査をしたら陽性が判明したということで、結局4名、スマイリングルームや研究所で陽性者が出たということになりました。

スマイリングルームや研究所の陽性の関係はそういったところですが、皆さん入院されたり、それから療養施設に行ったりしていたんですが、5月11日の段階で体調に大きな変化がない人がほとんどだったので、12日から研究所は再開しております。

言い忘れましたが、研究所でも1名出たため、陰性だった私たち残りの職員も濃厚接触者ということで、5月11日までは自宅待機をということを保健所から指示をされまして、休んでおりました。症状が一番重かった方も先週の金曜日に退院しまして、今日はまだ休んでおりますが、体調は今のところ悪くないという報告を受けております。以上です。

- **学校教育課長（今井竜生君）** 付け加えて、先ほどの学校にお渡ししたという資料の裏面を御覧ください。

可茂地区の感染状況等をまとめたものがございます。今までは、児童生徒に関わる事案というのが、ほぼ家庭内感染が中心でした。ただ、今年度になってからの特徴としては、例えば体調不良で病院を受診したお子さんが、念のため検査をしたんですけれども、そこから陽性が判明という事案もあったり、それから子供たちの陽性が多数確認されるんですけれども、その後、念のためのPCR検査で陽性になって、学校クラスターというような形で発生している状況も可茂地区の中ではございます。それから、因果関係がなかなか分からないというところが今回の感染の特徴であるというふうに考えています。それから、変異株については若者にも強い感染力があるということで、やはり今までとは違うという認識が必要であるということをご指摘されています。

今後の対応については、今までの対応、そういった感染の対策に加えて、厳しい対応をしていかなくちゃいけないということで、先ほど申しましたように、家族に何らかの心配があれば子供たちは学校に来ない、学校で広まることを防ぐということを考えています。それから、学校生活の見直しということで、3番に書きましたが、いろんな活動を自粛とか回避するという、それから縦割りの活動等を行うと、結局陽性者が出た場合に、その周りの子供たちに検査の対象が広がるということで、そういうことも回避していかなくちゃいけないことになっています。今のところ、そんな状況で進めているところです。よろしくお祈りします。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **教育研究所主任指導主事（千葉智治君）** 先ほど御報告させていただきましたので、そのほかは特にございません。
- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **学校給食センター所長（佐藤一洋君）** 学校給食費ですが、4月30日が令和3年度第1回目の給食費の納期でした。保護者の方から4月末までに納めていただく金額が、全部で8,084件、3,876万2,360円という状況です。この中で実際に納められたのが、口座振替で3,561万5,420円、納付書で51万8,920円、合計で3,613万4,340円でした。これは、5月13日現在ということになります。収納率でいきますと、93.22%です。大体ほとんどの方が払っていただいているような状況です。

口座振替で、残高不足により落ちなかった方が370件、全部で170万8,000円でございます。こちらにつきましては、本日再振替ということで、また口座振替をさせていただくということになります。ここでも落ちなかった場合には、督促ということで、月末頃に納付書を送って支払いを促します。あと納付書につきましては、納期が過ぎてから入ってきているものもございます。今後ちょっと増えていくかなというのがあるのと、月末までに納入されない方については、同じく督促をさせていただくということになります。このような形で、収納率も維持しながら、給食費の徴収事務を行っていきたいと考えております。

以上でございます。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
各課からの報告につきまして、御質問、御意見ございましたらよろしくお祈りします。
- **教育委員（丹羽千明君）** コロナの感染症については、現状を細かく言っていたいただきましたけど、もう少しお尋ねしたいんですけど、子供が感染したというのをお聞き

する、陽性になったと報告をいただくんですけれども、症状というのは児童・生徒の場合どうなのでしょう。熱が出て、あとまた後遺症になるような場合はないということでもよろしいでしょうか。

- **学校教育課長（今井竜生君）** 症状についてはやっぱりそれぞれですので、調子が悪かった、例えば鼻水が出ていたとか、少し熱があったということをお子さんも見えますし、ほとんど症状がなく、家族の方が陽性になっていて、その子が濃厚接触者でPCR検査を受けた場合に陽性になったというような場合もありますので、発症するかどうかはちょっと個人に関わるのかなあと思っています。

それから、その後なんですけれども、その後ずうっと調子が悪いとかということは、情報としては入って来ていません。

- **教育長（堀部好彦君）** 比較的症状は軽い、または無症状というのが多いんですね。ありがとうございます。
- **教育委員（丹羽千明君）** 先ほど今井課長がおっしゃいましたけど、子供から子供へ感染するというパターンが出てきたということなんですけれども、最初の認識では、そういうのはあまりないということだったと思うんですけど、美濃加茂市でも可児市でもそういうのがあったということですので、あと、変異株が今都会のほうではそれに置き換わっているという、50%か60%がそっちになっているということなんですけれども、岐阜県の場合はまだそこまでは行っていないというか、10%以下だったと思うんですけども、その辺の変異株に対してはどうなのでしょう。
- **学校教育課長（今井竜生君）** 私たちのところでは、なかなかどのお子さんの例が変異株であるかということまではつかめていません。そこは詳しく分からない状況です。変異株が出てきているということは伝えてみえますけれども、どの事例のどこがということまでは、ちょっとそこまでは分からないので、そこまで申し上げることはできません。
- **教育委員（丹羽千明君）** 分かりました。ありがとうございます。
- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
ほか、よろしいでしょうか。
- **教育委員（小栗照代君）** 教育研究所の先生とか、スマイリングルームの先生方、コロナにかかって大変だったと思うんですけど、回復に向かっていらっしゃるということで、まずはほっとしているんですが、例えば家族の方との面談であったりとか、子供たちとコミュニケーションを取ったりとかというときにうつたというふうに考えられると思うんですが、今までの対策はどうしていたのかということと、多分きちんとやっていたらうつたのにうつたのかどうか。また、今回のことがあって、どのようなところをどのように改善されたのかというところを教えてください。
- **教育研究所主任指導主事（千葉智治君）** 今までも、学校に準じるような形で、通室児童は来た時点で体温測定をしたり、送ってみえた保護者さんや、その家族の方、皆さん体温測定はしておりました。それから、換気、消毒、特にお弁当を持って食べるものですから、それも含めて、手洗いなど手指消毒も徹底してやっていたということなんですけど、そんな中でもこうやって、子供が原因かどうかというものはっきりと

は分からないんですけども、感染者が出てしまったということで、遡ってその子の様子を振り返ってみると、やはり熱はなかったんですけども、少し風邪症状といった体調不良の時期があったということを知っていますので、今、研究所でも、通ってくる人を改めて、大人も含めて熱を測ること、それから体調についてももう少し突っ込んで聞いてみようかということで、何か風邪症状はありませんかとか、味覚や嗅覚が何かおかしいなあと感じられたことはありませんかというの、思い切って聞いてみましょうということを考えております。

ただ、スマイリングルームは、児童・生徒が来るので、もう少しその中でやれることを考えてみようということで、スマイリングルームそのものについては、あさって水曜日にスタッフ会議を計画しておりますので、そこでもう少し詰めて、今回のことを振り返ってみて、やれることをもう少し詰めて、その後再開したいというふうに考えています。以上です。

○ **教育委員（小栗照代君）** ありがとうございます。陽性の方を早く判断するというのももちろん大事なんですけれども、3密を避けるというのはなかなか子供たちと先生というような関係で難しいかもしれないんですけども、今回のことがあれば、どこの学校でも規模が違っただけで同じようなことが起こり得ることなので、ほかの学校にも何かしら展開できるようなことを考えていただけるといいなと思います。よろしくお願いします。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。本当に検証はとっても大切だと思うので、素人による検証なんですけれども、少しでもこんな可能性があればというところで水際対策等に役立てていけるといいかなあということは思います。

特に今、丹羽委員のお話にもありましたけれど、無自覚・無症状、それから比較的症状が軽い、そういった子供たちが陽性という判断がされているということなので、体調の管理、体調について聞いていくというのはとても大切で、今研究所からもありますが、鼻水が出ておったとか、昨日熱がちょっとだけ出ちゃったとか、せきがあるといった児童・生徒がおれば、やっぱり来られないよというようなことを、可児市の事例も踏まえながら、保護者には理解していただかなくちゃいけないかもしれないですね。実際に可児市で陽性者の15名中、こういう症状だったんですよということを言うべきじゃないかなということ、今、小栗委員の話を知って思いました。ありがとうございます。

ほか、どうでしょうか。

○ **教育委員（丹羽千明君）** スマイリングルームのほかに、今、ばら教室のほうが人数も多くて、第1ばら教室、第2ばら教室があるということですので、ばら教室については対策を十分にされているのでしょうか。

○ **学校教育課長（今井竜生君）** ばら教室についても同じ対応なんですけれども、健康チェック、それから検温というところと、それから感染症対策の基本的な徹底をしていくことをやっています。

○ **教育委員（丹羽千明君）** 分かりました。

○ **教育長（堀部好彦君）** あとほか。

〔挙手する者なし〕

委員さん、私から御承知くださいということなんですけれども、コロナ対策について

の美濃加茂市との連携ということなのですが、今回部活について、5月31日まで、美濃加茂市と協議をして、可児市と美濃加茂市は部活をやらないということで判断をして通知を出させていただきました。この近辺では、可児市、美濃加茂市以外はやろうというふうに可茂地区の町村は考えているのではないかなあと思うんですけども、今回美濃加茂市と協議をした理由なのですが、感染状況が似ている、逼迫しているよということ、それから市の規模、または学校の規模、小規模校から大規模校まで存在している、そういった状況、環境が似ているというところから、今後も部活のみならず、いろんな教育活動の開催、延期、注意事項等、感染防止等の取組について、同一歩調でいけるといいなあとという思いから、学校教育課長と向こうの課長で協議をしながら今進めて、その1番目というか、今回部活がスタートであるというふうに私としては捉えています。御承知おきください。今後とも、修学旅行についても協議を重ねないといけないと思っております。

- **教育委員（丹羽千明君）** いつまでですか、部活を中止するというのは。
- **教育長（堀部好彦君）** 5月31日までということで、通知は今のところ出しております。現在のところですが。またそれ以後どうするかということについては、また協議ということですか。
- **教育委員（小栗照代君）** 共和中学校はどうなんですか。御嵩町と。
- **教育長（堀部好彦君）** 共和中学校については、学校教育課長お願いします。
- **学校教育課長（今井竜生君）** 御嵩町についても、可児市はどういう対応を取るかということとは向こうから尋ねられましたので、可児市はこういう対応ですということでは言っています。その後の決定については、こちらへの報告義務はないのでそういうふうにしますよということだけ情報としては提供しています。
- **教育長（堀部好彦君）** 組合立ということで、昨年度からこれもずうっと共和中学校から、御嵩町からの問合せがあることが多いということですか。
- **学校教育課長（今井竜生君）** 連携は、情報は提供しています。
- **教育長（堀部好彦君）** ほか、よろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

ありがとうございました。

委員からの提案協議事項

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、ないようですので、次に教育委員からの提案協議事項についてを議題といたします。
どうでしょうか。
- **教育委員（小栗照代君）** 最近マスコミで、体育の授業のときの肌着を禁止にしている学校があるということで、保護者のほうからそういったことを、それはちょっと問題があるんじゃないかというようなお話があつて、いろいろネット上でも問題になったんですけども、可児市では、そういった禁止事項があつたりとか、そういったことで保護者の方から何か御相談があつたりというようなことはないでしょうか。
- **学校教育課長（今井竜生君）** 特にございませぬ。あのニュースというか、あれも、えっという感じだったので、なぜそんなことをするのかというのが、私としてはそう

思いました。

- 教育長（堀部好彦君） 校則については、いろいろ周りがざわついているところもあるようなんですけど、可児市においてはそういった保護者、地域の方からの要望、苦情等については特に私のところまでは聞いておりませんが、そうですね、課長さん。
- 学校教育課長（今井竜生君） はい。
- 教育長（堀部好彦君） ありがとうございます。
ほか、よろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

その他

- 教育長（堀部好彦君） では、その他に移りたいと思います。
次に、その他の次回の日程等について。
- 教育総務課長（石原雅行君） 次回ですが、先月決めていただきました6月21日月曜日午前9時からお願いいたします。場所は、市役所4階第1会議室になります。
7月の日程ですが、7月26日月曜日はいかがでしょう。
丹羽委員、どうですか。
- 教育委員（丹羽千明君） 大丈夫です。
- 教育総務課長（石原雅行君） それでは、7月26日9時からということでお願いいたします。
- 教育長（堀部好彦君） 7月26日月曜日ということでよろしくお願いいたします。
一応ここで区切りとなります。あの時計で10時5分まで休憩とさせていただきます。
お疲れさまです。

休憩 午前9時57分

再開 午前10時05分

- 教育長（堀部好彦君） それでは、ただいまから会議再開いたします。よろしくお願いいたします。

（以下非公開）

（以上非公開）

閉会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） 以上で、本日の議事等全て終わりましたので、これにて教育委員会会議を閉会します。ありがとうございました。

閉会 午前11時04分